



幼年期だより

令和6年6月10日(月) NO. 1

子どもの育ちと学びをつなぐ

令和4年3月に文部科学省から『幼保小の架け橋プログラムの実施に向けた手引き(初版)』が示され、2年が経ちました。生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期である「架け橋期」(5歳児から小学校1年生)。幼年期の3要領・指針と小学校の学習指導要領の理念をより徹底し、「架け橋期」、さらにその後を通じて、充実した教育を目指していくことが求められています。

幼年期教育研究委員会では、子どもの育ちと学びをつなぐための連携のあり方について、これまで研究を進めてまいりました。4月には、架け橋期教育の充実に向けた「幼年期教育の手引き」ダイジェスト版をすべての園と小学校に配付しました。子どもたちの成長にとって、とても大切な幼児期と児童期。本年度は、この時期に抱える課題について共通理解を図り、なめらかな接続のために幼保こども園と小学校との「交流と連携」を形あるものにと考えております。園と学校の環境や実情など様々ですが、園と学校が互いに「つながり」を強くしようという意識をもって、できることを模索しながら実現していく一年にしていきたいと思っております。

今年度は、7月に「園参観と語る会」として、野依保育園の保育を公開していただき、8月には「学習会」も開催する予定です。



「幼年期教育の手引き」を修正して、より活用していただけるものになりました。イントラネットに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

幼年期教育の手引き

- 1 幼保こども園の連携
(① 子どもどうしの交流 ②生活科授業参観 ③「園参観」と「語る会」 ④学習会)
- 2 幼児教育と小学校教育をつなげる「架け橋期のカリキュラム」
※幼稚園・保育園・認定こども園が中心となって編成する年長児のカリキュラム「アプローチカリキュラム」と、小学校が中心となって編成する1年生のカリキュラム「スタートカリキュラム」の接続を意識して編成されたカリキュラム
- 3 児童期につながる「育ってほしい10の姿」

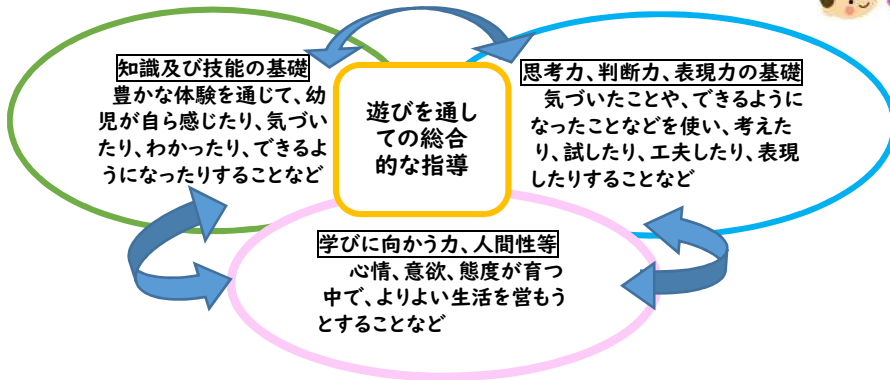
この「幼年期だより」を通して、取り組みの様子や事例をお伝えしていきます。各校におかれましても、子どもたちの育ちと学びをつなぐために、交流・連携・接続を進めていただきますようお願い申し上げます。

幼年期教育研究委員会委員長 前田 近子



子どもの学びは連続している

<幼児教育において育みたい資質・能力>



<小学校教育>
各教科等における学び

<幼児教育>
遊びを通した学び
= 学びの芽生え

幼児教育と小学校教育で共通していること

幼児教育

10の姿を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する



小学校教育

10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施する

教育課程

一人一人の資質・能力を育てていくよう教育の内容等を組織的かつ計画的に編成

教育方法

「主体的・対話的で深い学び」の実現



園・小情報交換に向けて

令和7年度小学校別就学予定者（年長児）調べの活用を

今年度も、市内全園に来年度4月に入学する小学校別就学予定者数調べの協力を依頼しました。昨年度同様、高山学園・くすのき学園・あゆみ学園・ゆたか学園・いわさき学園にも年長児数を報告していただきます。

7月初旬までには各小学校に送ります。早期の就学相談や園と学校の情報交流等にご活用ください。

保育士・教諭の交流の場へ

野依保育園・小学校参観

と語る会

日時：7月29日(月)午前
～オンラインにて～

幼年期教育学習会

日時：8月9日(金)午後
幼保こども園・小の連携に向け、一緒に考えていきましょう

